

授業科目名	日本経済論	科目コード	G4202P01
英文名	Economics in Japan		

科目区分	経営情報専攻科目 - 経営環境		
------	-----------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	松井 隆幸
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	4限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	産業や企業の視点から日本経済を分析します。技術革新や企業戦略が日本の経済・産業・生活に影響を与えるかを、具体的事例をもとにみていきます。			
-------	----------------------------------------------------------------------	--	--	--

キーワード	産業	企業戦略	技術革新	ビジネスモデル	北陸の産業
-------	----	------	------	---------	-------

到達目標	メディア・文献・Webなどから日々得られる情報を、自分の頭で理解し、自分で関連づけ、自分の言葉で人に伝えることができるようになることをめざします。			
	企業戦略や技術の変化を念頭に置いて、身の回りの製品やサービスを見ることができると目指します。企業のWebサイトを見て、企業研究ができるようになることを目指します。			
	具体的事例をもとに物事を説明する力を身につけます。			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上	専門分野に共通する基礎知識の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>オリエンテーション 授業進め方、資料の入手方法及び成績の評価方法等についてのガイダンスを行います。 「AIは本当に仕事を奪うのか？」を題材に、技術と経済・生活の関連について考えてみます。</p>	
	<p>【予習】シラバスを見ておく。</p>	
	<p>【復習】授業で紹介したWebサイトを確認する。</p>	
第2回	<p>・工業化とサービス化。 1, 2, 3次産業の変化が起こるメカニズム、BtoCサービスとBtoBとの違いを学び、身近な事例を関連付けて考えます。</p>	
	<p>【予習】「ベティ・クラークの法則」とは何か調べておく。</p>	
	<p>【復習】BtoCサービスに関する事例をみつける。 2～14回の授業で、毎回、授業終了時にB6用紙でミニ・レポート(10分程度で終わる簡単なレポート)を実施する。</p>	
第3回	<p>・デジタル情報社会とGoogleのビジネスモデル デジタル情報・ICT・IoTとは何かを整理する。 2000年代はじめのインターネットバブル崩壊を振り返り、それを克服したGoogleのビジネスモデルを分析する。</p>	
	<p>【予習】スマホやPCでグーグル検索をして、画面を確認しておく。</p>	
	<p>【復習】身近なインターネット・ビジネスについてまとめる。</p>	
第4回	<p>・ネットビジネスとロングテール インターネットビジネスに特異な「ロングテール」という現象、それを活用したAmazonや楽天のビジネスモデルについて学ぶ。</p>	
	<p>【予習】ネットで検索して「やっと見つけた」買い物について思い出し、メモしておく。</p>	
	<p>【復習】「私のロングテール体験」についてまとめる。</p>	
第5回	<p>・デファクト・スタンダード、ネットワークの経済性 家庭用VTRにおけるVHS、PCにおけるWindowsなどいわゆる「スタンダード」が成立したプロセスを振り返り、それをめぐる企業戦略について学ぶ。</p>	
	<p>【予習】VHSとベータの歴史について調べておく。</p>	
	<p>【復習】授業で学んだ現象のうち、身の回りにおける具体例を探す。</p>	
第6回	<p>・知的財産制度と企業戦略 特許権、意匠権、著作権などの知的財産制度が、企業戦略としてどのように使われてきたかを、日清食品・バンダイ・ディズニー・サンリオなどの事例で学ぶ。</p>	
	<p>【予習】知的財産権の種類について調べておく</p>	
	<p>【復習】授業で学んだ現象のうち、身の回りにおける具体例を探す。</p>	
第7回	<p>・モジュラー化と国際分業 日本のデジタル家電産業がなぜ急速に競争力を失ったか、いまだ競争力を持っているのはどのような産業か。「モジュラー化」という現象を通じて分析します。</p>	
	<p>【予習】初めに提示した家電メーカーの苦戦についてのデータを見直す。</p>	
	<p>【復習】「モジュラー化」「比較優位」について身の回りの事例を探す。</p>	
第8回	<p>・モジュラー化した世界での企業戦略 インテル、シマノ、アップル、キーエンス、村田製作所など、モジュラー化が進んだ業界で高業績を上げている企業の戦略をとりあげる。</p>	
	<p>【予習】企業Webサイトで企業分析をする。</p>	
	<p>【復習】取り上げた中で、最も関心を持った企業について調べる。</p>	

第9回	<p>・企業の新事業展開 キヤノン、東し、富士フィルム、セーレン、ベネッセなどの事例を用いて、企業が経営資源を活かしてどのように新事業を展開してきたかを振り返る。</p>	
	【予習】企業Webサイトで企業分析をする。	
	【復習】最も関心を持った企業について、さらに調べる。	
第10回	<p>・失敗物語 コカ・コーラ・マクドナルド・GM、すき家・代々木ゼミナールなど、名門企業の歴史的失敗から学ぶ。</p>	
	【予習】企業Webサイトで企業分析をする。	
	【復習】最も関心を持った企業について、さらに調べる。	
第11回	<p>・復活物語 アップル・IBM・ソニービクター・玉子屋など、危機的状況から復活を果たした企業事例から学ぶ。</p>	
	【予習】企業Webサイトで企業分析をする。	
	【復習】最も関心を持った企業について、さらに調べる。	
第12回	<p>・北陸3県の生活と産業 様々な「47都道府県順位」をもとに、北陸3県暮らしや産業の特色を分析する。</p>	
	【予習】指定した地域関連のWebサイトを見ておく。	
	【復習】授業で学んだ内容と、自分の生活実感とを比べてまとめる。	
第13回	<p>・北陸の製造業とニッチトップ企業 富山県の医薬品・アルミ、石川県の産業器械、福井県の繊維など北陸3県の主要産業の成り立ちを振り返り、狭い分野ながら日本や世界でトップシェアを持つ企業を紹介する</p>	
	【予習】初回に提示した北陸産業についてのデータを見ておく。	
	【復習】最も関心を持った企業について、さらに調べる。	
第14回	<p>・北陸企業のグローバル戦略 YKK・コマツ・ゴールドウィン・8番ラーメンなど、広く国際展開している北陸企業の事例を紹介する。</p>	
	【予習】企業Webサイトで企業分析をする。	
	【復習】最も関心を持った企業について、さらに調べる。	
第15回	<p>・期末試験の前に 補論：就活について 企業研究と就活についての簡単な話の後、授業時間内にまとめのレポートを実施する。</p>	
	【予習】これまでの配布資料をやノートを整理しておく。	
	【復習】まとめのレポートの課題を出す。	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	2～14回の授業後に実施したミニ・レポート6点×13=78、まとめレポート22点の合計で成績評価する。		
使用資料 <テキスト>	テキストはなし。適時関連したWebサイトを紹介します。	使用資料 <参考図書>	同左
授業外学修等	紹介したWebサイトを見ておいてください。		
授業外質問方法	講義終了後。普段は富山大学にいますので、質問はメールでも受けつけます。 tmatsui@eco.u-toyama.ac.jp		
オフィス・アワー	講義終了後、またはメールで。		